

令和7年度
職員採用



© 2023 なごみアート有志

ここで暮らしている
わたしも、あなたも

経営理念

私たちは、すべての利用者が人として人らしく尊ばれ、
自らの意思に基づいた生活を地域社会で
営むことができるよう支援します。



当事業団マスコットキャラクター ちょーじー

意欲あふれる皆さんをお待ちしています。

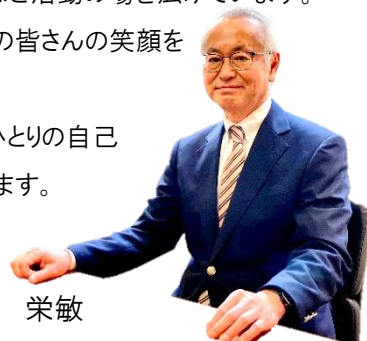
当法人は、調布市の100%出資により設立された法人です。障害福祉と子育て支援を事業の両輪として、先駆的な取り組みを調布市からの委託を受け実施しています。

障害福祉事業においては、入所施設をはじめ通所施設、地域での生活を支えるグループホームや地域での生活や就労支援を行っている事業所を持ち、就学前の子どもの療育にも取り組んでいます。こういった事業を推進しているのは障害者のライフステージ全般に関わり、そこに寄り添って支援していくという大きな方針を持っているからです。

子育て支援事業では、調布市子ども家庭支援センターすこやかを中心に、子育てをしやすい環境を整えるための多様なサービスを展開しています。また、児童相談所や市の児童虐待防止センターとも連携し虐待防止の一翼も担っています。令和5年4月からは、国領児童館事業を、令和6年4月からは調布ヶ丘児童館学童クラブを順次受託しました。学童クラブとあそびバ事業との連携をはかりながら放課後における子ども達の集う場を提供するとともに、安全に安心して過ごすことができるよう児童の健全な育成を支援していきます。

また、障害児学童クラブとしてインクルーシブな取組を開始してから4年目を迎えるゆずのき学童クラブも先駆的な取組の一つであります。一方、国領7丁目障害者施設の運営を受託し、デイセンターまなびや国領とワークライフカレッジすつくの事業を開始するなど活動の場を広げています。どの仕事も決して楽な仕事ではありませんが、子どもたちや利用者の皆さんの笑顔を見ると、多くの人々の日常を支えているというやりがいを感じます。

当法人は「人材」を何よりも大切な「人財」として捉え、職員一人ひとりの自己成長・自己実現を支援しこれからも福祉の拡充に取り組んでまいります。
意欲あふれる皆さんをお待ちしています。



理事長
伊藤 栄敏

待遇・福利厚生

◇調布市の監理団体として、障害福祉・児童福祉にかかわる業務を担っています。

◇職員の待遇は東京都職員に準じています。

初任給 237,800円 ～ 247,800円（大卒新規採用者の場合）

※上記金額は、本俸+特殊業務手当の合計額。

※職歴加算あり 福祉施設等における正規職員としての経験年数×下記定期昇給額
その他の正規職員としての経験年数×下記定期昇給額×50%

手当等 期末・勤勉手当 4.65ヶ月分（令和5年度実績）

住居手当 賃貸住宅居住の世帯主を対象。34歳まで 15,000円

扶養手当 子（～15歳）9,000円、子（16～22歳）13,000円、
その他扶養親族等6,000円

資格手当 社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士、公認心理師 6,200円

通勤手当 交通機関使用の場合実費相当額、その他自転車等交通用具使用時など

定期昇給 58歳まで年次定期昇給あり

～30歳代平均6～9千円程度 40歳代～平均6千円程度

※それぞれ年齢については、その年齢に達する日を含む年度が対象）

勤務時間 週40時間勤務。施設によってはシフト制による交代勤務のところもあり。

休日 年間休日数120日程度。曜日等は施設により異なる。

休暇等 年次有給休暇（入社日から付与。積立保存の仕組みあり（勤続5年以上の方から使用可））、
夏季冬季休暇、子の看護休暇、介護休暇（以上時間単位の取得可）、出産休暇、出産支援休暇、
育児休業、介護休業等。その他にも、リフレッシュ休暇（勤続10年、20年、30年到達時に年数に
応じて休暇を付与）、ボランティア休暇等、規程で定められた各種休暇制度あり。

健康管理 定期健康診断や予防接種のほか、保健師による健康づくりのための面談も実施。

保険・年金など 健康保険（協会けんぽ）、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、施設損害補償
（職員の労災上乗せ、傷害事故補償、感染症罹患事故補償含む）及び、従事者
共済会・福祉医療機構による退職金制度に加入。

職員互助会 職員同士の親睦などを目的に、職員互助会が設置されています。慶弔給付金や
健診の補助・会員同士の親睦の補助などを行っています。
有志によるサークルも設立され、活発に活動しています！そのほか、ソウエル
クラブ（福利厚生センター）による各種サービスを利用できます。

障害福祉サービス

なごみ（調布市知的障害者援護施設）（施設入所支援・生活介護） 定員60名
（短期入所・ショートステイ）定員12名

開かれた生活環境やメリハリのある暮らしを提供します。また、地域で暮らす障害のある方が一時的にサービスを必要とした場合、短期間生活の場として利用できます。レスパイトや施設の体験としての利用も可能です。



そよかせ（調布市知的障害者援護施設）（生活介護）定員30名

普段の家庭生活や質の高い地域生活を送るためのスキルアップを目指す、知的障害のある方の通所施設です。



すまいる（調布市知的障害者援護施設）（就労継続B） 定員16名
（生活介護） 定員16名
（就労定着支援）定員なし

働く意欲を持ち、仕事を通じて社会参加・自立をめざす方を対象に、パンの製造・販売を中心とした事業を展開しています。

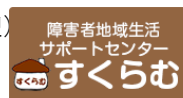


すくらむ（障害者地域生活サポートセンター）

< グループホーム >

◆すてっぶ(体験型) ◆じょい ◆ふれんず ◆小島町ふれんず ◆ちやれんじ(体験型)

知的障害のある方が家庭から自立し、市民として安全で快適な地域生活が送れるよう支援しています。都内でも数少ない体験型のグループホームもあります。



じゃんぶ

< グループホーム >

◆じゃんぶ ◆布田北じゃんぶ ◆富士見町じゃんぶ ◆下石原じゃんぶ ◆調布ヶ丘じゃんぶ

知的障害のある方が家庭から自立し、市民として安全で快適な地域生活が送れるよう支援しています。

障害福祉サービス

調布市デイセンターまなびや

重度重複障害のある方の通所施設です。地域で健康に豊かな生活を送れるようにリハビリや日中活動などさまざまなサービスを提供しています。



◆まなびや西町

(生活介護) 定員20名 ※うち重心通所10名 (日帰介護) 1名

◆<国領7丁目障害者施設>まなびや国領

(生活介護) 定員20名 ※うち重心通所10名 (日帰介護) 1名

グループホームみつばち

< グループホーム >

◆みつばち ◆深大寺みつばち ◆委託型緊急一時保護事業

重度重複障害のある方が家庭から自立し、安全で快適な地域生活が送れるよう支援しています。

<国領7丁目障害者施設> ワークライフカレッジすとおく (調布市知的障害者援護施設)

(自立訓練(生活訓練)) 定員10名

(就労移行支援事業) 定員10名



利用者の多様な就労ニーズに対応した訓練プログラム等を行う通所施設。就労面及び生活面の支援を一体的に行うことで、障害者の就労の促進を図り、自立と社会参加につなげます。

ちょうふだぞう (調布市障害者地域生活・就労支援センター)

障害のある方が地域生活を送るため、就労面と生活面の一体的支援を行なっています。

就労支援 ◆障害者就労支援事業

生活支援 ◆地域活動支援センター事業

◆移動支援事業

◆特定相談支援・一般相談支援事業

◆障害者地域自立支援協議会

◆ほっとれ〜る(ティールーム)の運営

◆障害者を地域で支える体制づくりモデル事業(あんしんネット)



児童サービス

調布ヶ丘地域学童クラブ・あそびバ

(調布市学童クラブ・調布市放課後子供教室事業)

小学生を対象に、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図ります。

- ◆第一小学校学童クラブ・あそびバ
- ◆はづき学童クラブ
- ◆かしの学童クラブ
- ◆かみふだ第1・第2学童クラブ
- ◆八雲台小学校あそびバ
- ◆柏野小学校あそびバ
- ◆調布ヶ丘児童館学童クラブ

国領地域児童館・学童クラブ・あそびバ

(調布市児童館・調布市学童クラブ・調布市放課後子供教室事業)

18歳未満の全ての子どもを対象に、地域における遊びや生活援助・子育て支援を行います。



- ◆国領児童館・子育てひろば

小学生を対象に、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図ります。

- ◆第二小学校学童クラブ・あそびバ
- ◆国領小学校学童クラブ・あそびバ
- ◆国領児童館学童クラブ
- ◆あおぞら学童クラブ

調布市ゆずのき学童クラブ

定員40名 ※うち身体障害5名 知的障害10名

定員のうち障害児の人数が多いこと、障害児については車両送迎を行うこと、他の学童クラブでは受け入れが難しい児童を優先すること等、障害児の利用について特徴を有する学童クラブです。全ての利用児が、ともに違いを認め合いながら、仲間となって過ごしていけるよう育成支援しています。

児童サービス

あゆみ（調布市子ども発達センター通園事業）

- ◆児童発達支援事業 定員40名

発達に遅れやかたよりのある3～5歳児を対象に通園による療育を行います。遊びを通して社会的能力、認知能力、運動・活動能力の育ちを支援します。



- ◆緊急一時養護事業・リフレッシュ支援事業 平日2名・休日1名 1歳6ヵ月～小学生

すこやか（調布市子ども家庭支援センター）

子どもと家庭に関わる多様な事業を行うことにより、子どもの健やかな成長を支援します。



- | | | |
|--------------|------------------|--------------|
| ◆施設開放事業 | ◆ファミリーサポートセンター事業 | ◆ショートステイ事業 |
| ◆トワイライトステイ事業 | ◆エンゼル大学 | ◆利用者支援事業 |
| ◆すこやか保育事業 | ◆養育支援訪問事業 | ◆子ども家庭総合相談事業 |
| ◆乳児交流事業 | ◆幼児交流事業 | ◆子育て世帯訪問支援事業 |

平成12年4月に「なごみ」「そよかぜ」「すまいる」「ふれんず」「まなびや」の5つの施設でスタートした調布市社会福祉事業団。

その後、「ちょうふだぞう」「すこやか」「あゆみ」「学童クラブ・あそびバ」「児童館」「国領7丁目障害者施設」と施設を増やし、現在では13施設にも拡大しました。今も新規施設の開設を控え準備を進めており、今後もさらに発展を続けていく予定です。



先輩職員メッセージ

1日のながれ（夜勤の例）

- ① 16:30 出勤
- ② 17:45 夕食介助
- ③ 20:30 入床準備
- ④ 22:00 夜勤見回り・
夜間トイレ誘導
安全確認
- ⑤ 6:30 早番への引継ぎ
利用者の起床・身支度
- ⑥ 8:30 日勤職員へ引継ぎ
- ⑦ 9:30 退勤



調布市知的障害者援護施設
なごみ

松原 圭佑

（令和2年度採用 福祉職）

なごみは知的障害の方の入所施設であり、ご利用者の生活の場です。日々の小さな変化に気づき、安心して暮らせる場を提供するために支援方法を模索することは難しいこともありますが、「おはようございます」から「おやすみなさい」まで1日の生活を職員がチームで見届けています。夜勤の場合は、勤務が16:30からなので、勤務前に昼寝をしたり、二度寝をしたりとゆったり過ごすことができます。夜勤明けは9:30に終了なので、その後は開店直後の買い物や、ゆったり遠出をする等して、自分の時間が作りやすいのも魅力です。

1日のながれ

- ① 8:30 出勤
送迎バス添乗
（医療的ケア対応）
- ② 9:30 バイタルチェック
怪我等の処置
リハビリテーション
- ③ 11:00 医療的ケア
（注入）
- ④ 12:15 休憩
- ⑤ 13:00 活動
利用者の怪我等の処置
- ⑥ 15:00 送迎バスの添乗
（医療的ケア対応）
- ⑦ 16:15 事務処理
ミーティング
- ⑧ 17:15 退勤



調布市デイセンターまなびや

福居 優

（令和3年度採用 看護職）

デイセンターまなびやは、重度重複障害者の通所施設です。楽しみや、やりがいのある生活を支援できるよう、外出・レクリエーション・創作活動・音楽療法などの活動や季節の行事などを実施に加え、リハビリや入浴も実施しています。私は今まで病院に勤めていましたが、子育てとの両立を考え転職しました。土日祝日はお休み、平日に行われる子どもの学校行事などには時間休を使って参加しています。子どもと過ごす時間が増えて、仕事にも前向きに取り組むことができました。子育てと仕事の両立がうまくできていると感じます。

先輩職員メッセージ

1日のながれ

- 8:30 出勤
- 9:30 園児登園
- 10:00 クラス療育
- 11:30 給食
- 12:30 午睡・自由遊び
- 14:00 帰りの会
- 14:30 バス添乗
フィードバック
- 15:45 全体振り返り
- 16:45 事務作業
- 17:15 退勤



調布市子ども発達センター
通園事業あゆみ 副園長

宮本 真紀

(平成21年度採用 福祉職)

あゆみでは、専門的支援を必要とする3～5歳の子どもの発達を“遊び”を通して、支援しています。

様々な年齢層の職員がいる職場なので、日頃から仕事や子育ての悩みを共有したり、アドバイスし合ったりしています。絵本の読み聞かせボランティアや研修への参加、家族旅行のためのお休み等、プライベートな活動への理解もあり、お互いにフォローしあいながらお休みを取り、日々「仕事」と「プライベート」どちらも大切にしながら過ごしています！

1日のながれ（遅番の例）

- 10:30 出勤
事務作業
おやつ買い出し等
- 13:00 職員ミーティング
児童の育成
- 15:30 おやつ提供
- 16:45 帰りの会
- 17:00 集団降室
パトロール
- 18:00 延長育成開始
- 19:00 育成終了
- 19:15 退勤



調布市立国領小学校
学童クラブ・あそびバ

足田 力丸

(令和4年度採用 福祉職)

学童クラブ・あそびバは、小学1～6年生までの子ども達が、放課後や土曜日等に、保護者に代わって安心して過ごせる場所を提供しています。安全安心に過ごせるよう声かけを行ったり、イベントも開催しながら“自立支援”を目標に子ども達と接するよう心がけています。

前職は自衛隊で、福祉の経験は全くありませんでしたが、上司や同僚に支えられながら日々仕事に励んでいます。今は、スキルアップのために保育士試験の勉強にも取り組んでいます。

プライベートでは子どもが生まれた際に育休を1ヶ月取得し、仕事と育児の両立もしやすいと感じています。

職員に関する数値データ（令和4年度）

結婚や子育て、家族の介護などがしやすい職場環境です
職員みんなで支え合い一人ひとりのワークライフバランスを大切にしています

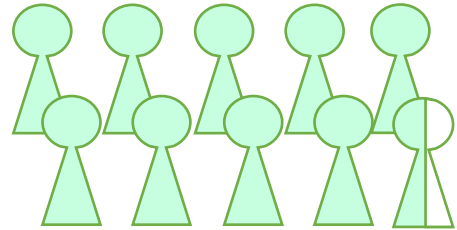
職員数

576人

正規職員数184人
その他392人

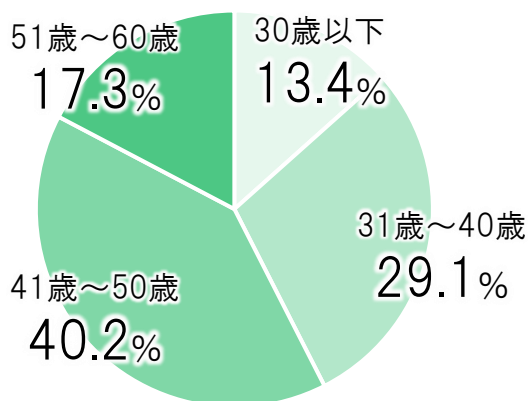
離職率

4.0%



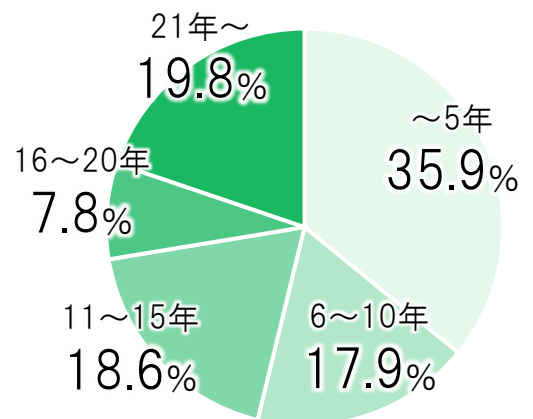
平均年齢

平均41.6歳



勤続年数

平均10.0年



年次有給休暇取得率

85.0%

月平均残業時間

5.4時間

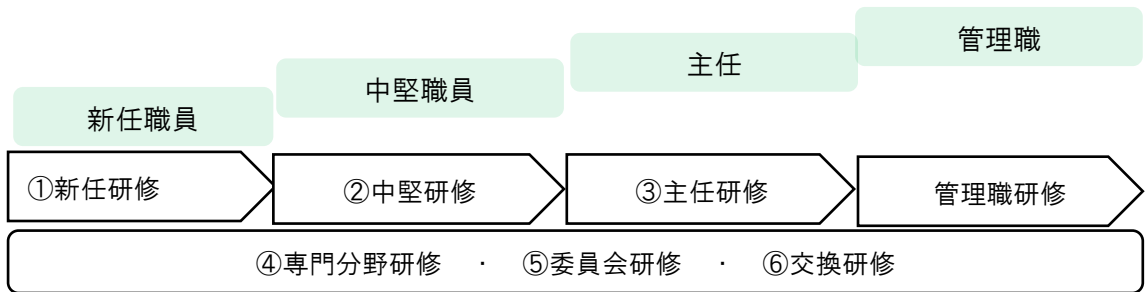
産休・育休取得率

女性 100%
男性 50%

産休・育休後の復職率

男女ともに 100%

キャリアパス・研修制度



- ①新任研修 ～事業団職員としての意識づけ・基本事項の習得～
実施例…新人研修，ビジネスマナー，OJT等
- ②中堅研修 ～職場におけるリーダーシップとチームワーク～
実施例…リーダーシップ，コミュニケーション能力等
- ③主任研修 ～職場をまとめ，事業団全体への運営に参画する～
実施例…部下指導育成，業務改善等
- ④専門分野研修 ～専門性の向上と主体的なキャリア構築～
実施例…てんかん講座，自閉症講座，エピペン投与シミュレーション等
- ⑤委員会研修 ～事業団内の各委員会主催の多様な研修内容～
実施例…コンプライアンス，メンタルヘルス，リスクマネジメント等
- ⑥交換研修 ～各施設間と交流を持ち，相互の情報交換～
実施例…事業団内施設，調布市内福祉施設，都内福祉施設等

※その他，外部の研修も多数受講しています
また，自発的な研修の参加承認・費用の一部助成の仕組みもあります。
(勤務成績が良好な勤続3年以上の職員を対象)

Q & A

- Q. 配属先はどのように決まりますか？
- A. 配属先も人事異動も，本人の希望を考慮した上で職員の配置数やバランス，その方の持っている資質などを考え決定します。
- Q. 受験資格はありますか？
- A. 福祉関連の資格は必要条件とはしていませんが，社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士・公認心理師を取得している職員には資格手当を支給しています。
必要な受験資格は「普通自動車免許（採用までに取得見込も可）」のみです。
- Q. 資格取得に対する支援はありますか？
- A. 社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士・公認心理師資格取得のための通信教育や講習会の費用への補助金があり，資格取得を目指す職員が多数います。
- Q. 福祉職に関する経験はありませんが，大丈夫でしょうか？
- A. 経験豊富な先輩職員がOJT担当として指導する体制があり，安心して勤務・相談ができる職場環境です。
- Q. 見学は可能ですか？
- A. 本部事務局若しくは見学希望の施設までご連絡下さい。調整のうえ実施させていただきます。
また，Zoomを使用したオンライン説明会も実施しております。
(開催の際には，ホームページに詳細を掲載いたします)



問い合わせ



2024年6月発行
〒182-0032 東京都調布市西町290-4
本部事務局 採用担当
tel : 042-481-7493

【ホ-ムペ-ジ】 <https://jigyodan-chofu.com/>

